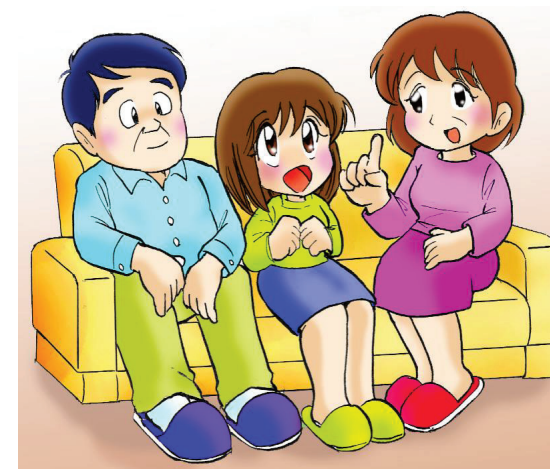




寄って 話して 自ら気づく

「親の力」をまなびあう学習プログラム

キャッチボールは得意ですか？ ～気持ちをつたえる 胸の真ん中でうけとめる～



イラスト：うじな かずひこ

かわいいわが子も大きくなり、今では背丈も親を追い越しそう…体だけでなく、心の中も大きく変化しているようです。
やたら反抗的な態度かと思うと、急に甘えてきたりして…なんだかとても複雑な様子。親の方も、腹が立ったり、不安になったり、戸惑うこともしばしばです。でも…私もあの頃はそうだったかも。
「あの頃」を思い出しながら、思春期真っ只中の子供との関わり方を考えてみましょう。

広島県教育委員会

さらに考えましょう

普段、あなたがわが子とのコミュニケーションの中で「大切にしていること」や「気をつけていること」は何ですか。

学習を振り返りましょう

自分の中で、分かったこと、考えが変わったことがあれば、書いてみましょう。

県民の皆さんの声（広島県教育モニターアンケートより）

- ◆子供とお互いの思いを納得するまで話し合いました。自分の思いを主張してくる子供に対し、親の考えを押し付けようとは思いませんが、親としてはこんな思いを持っていることを伝えることから話し合いを進めました。
- ◆中学生になると会話が減るとよく聞きます。親がネタと時間をつくる努力をしないからではないでしょうか。今日、何の授業があったのか知らない親も多いのではないのでしょうか。親がもっと子供を知ろうとすると、ネタと時間がキーワードではないかと思います。
- ◆子供の話を聴くとき、子供の言うことをただ聴くのではなく、子供のいうことを反すうしてあげると、子供も話しやすいということを聞きました。実践してみるとなかなかうまくいきました。例えば、子供が「きれいな花を見たよ」と言うと、「そう、きれいな花だったんだ。どんなふうにきれいな花だったの?」と言うように。
- ◆5人の子供がいますが、月に数回必ず1対1になれる時間をつくり、一人一人の意見や話を聴いてあげました。親子であってもお互いに心を開くことが大切です。



お問合せ：〒730-0052 広島市中区千田町三丁目 7-47 広島県立生涯学習センター
TEL：082-248-8848 FAX：082-248-8840 E-mail：sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp

※文章を読む前に、このワークシートを中央の点線で折り返してください。

親役・子役を演じてみましょう

進路選択（高校進学）についての親子の会話です。

二人一組で親役と子役に分かれ、まず、それぞれの「場面設定」を読んでみましょう。



親役の場面設定

- ① 中学校3年生の子供をもつわたしは、子供の進路選択が気になる時期を迎えています。
- ② わたしの子供は、A高校かB高校へ進学したいと考えているようです。入学試験の日がいっしょなので、どちらかを選ばなければなりません。
- ③ A高校は自宅から自転車で15分ほどの距離にある、普通科の高校です。地元の多くの子供たちが通っており、わたしも気に入っています。わたしの子供は、まだ、これといって就きたい職業がはっきり決まっている様子はありません。わたしは「普通科の高校でいろんなことを学びながら、将来の進路を考えれば良いのではないか」と思っています。
- ④ B高校は自宅からバスと電車を乗り継いで1時間半の距離にある、商業科の高校です。テニスの強豪校で、テニスに夢中なわたしの子供は、気に入っているようです。通学に時間がかかり、子供の帰宅が遅くなるのではないかと、わたしは心配であり、また、通学費がかかるのでお財布の方も気になります。
- ⑤ どちらの高校を選ぶかについて、子供と話をしなければならないと思っています。



子役の場面設定

- ① 中学校3年生のわたしは、進路選択について、真剣に考える時期を迎えています。
- ② わたしは、A高校かB高校のどちらに進学しようか迷っています。入学試験の日がいっしょなので、どちらかを選ばなければなりません。
- ③ A高校は自宅から自転車で15分ほどの距離にある、普通科の高校です。わたしの通っている中学校から、毎年たくさんの生徒が進学します。お母さん（お父さん）も気に入っている様子で、先日も夕食の時に、お母さん（お父さん）が文化祭に行ったと聞きました。
わたしは、まだ、これといって就きたい職業がはっきり決まっていないので「普通科の高校でいろんなことを学びながら、将来の進路を考えたい」という思いもあります。
- ④ B高校はテニスの強豪校です。高校進学後も部活動でテニスを続け、もっと上手になりたいわたしには、魅力があります。商業科の高校なので、資格も取れるのでいいなと思っています。ただ、自宅からバスと電車を乗り継いで1時間半もかかり、通うとなると通学に時間もお金もかかるので、お母さん（お父さん）がいいと言ってくれるかどうか不安です。
- ⑤ お母さん（お父さん）は、わたしのことを考えてくれており、お母さん（お父さん）の言うことはもっともだと思うことも多く、わたしはお母さん（お父さん）を信頼しています。
- ⑥ どちらの高校を選ぶのか、お母さん（お父さん）にちゃんと相談したいと思っています。

次に、シナリオを読んでみましょう。

まずは、シナリオ1から。

続いて、同じ人が同じ役のまま、シナリオ2も読んでみましょう。

シナリオ1

- 子 A校とB校のどちらにしようか迷っているんだ。
- 親 そうだねえ、A校の校風の方が、あなたには合っているんじゃないかと思うよ。
- 子 うん、そうかあ。

シナリオ2

- 子 A校とB校のどちらにしようか迷っているんだ。
- 親 迷ってるんだ。
- 子 うん。どっちがいいとお母さん（お父さん）は思う？
- 親 どっちがいいと、あなたは思っているの？
- 子 A校もいいかなとは思うんだけど、B校の方がいいなと思ってるんだ。

考えましょう、出し合ひましょう

親役と子役に分かれて演じてみての感想を話しましょう。

- ① シナリオ1とシナリオ2で親役と子役をそれぞれ演じてみて、どんな気持ちでしたか。

役柄	シナリオ1	シナリオ2
親役		
子役		

- ② 親と子のそれぞれの気持ちから、気づいたことがありますか。